

自宅で自己腹膜灌流をされる方へ

【在宅自己腹膜灌流について】

〈必要物品〉

クリーンフラッシュ、UV フラッシュツインバッグ

UV フラッシュディスコネクトキット、はかり、時計

排液確認用の下敷き、保温カバー、バッグ加温器

CAPD スタンド、CAPD 記録ノート、筆記用具



〈方法〉

治療開始

1. 手は石鹼を使用し流水で洗いましょう。
2. キットを開封し、マスクを付けます。
3. ツインバッグの表示、濃度、容量、期限の確認をし、ツインバッグを準備します。次回使用するツインバッグを加温器に入れておきましょう。

4. 包装袋よりツインバッグを取り出し、隔壁を開通させる。透析液バックの液漏れがないか確認し、ツインバッグのクランプを止めます。保温カバーに入れ、クリーンフラッシュの電源を入れます。
5. 作動を確認しましょう。
6. ふたを開け、接続チューブを入れます。
7. ツインバッグのスパイクポート部を入れ、緑色のキャップをはずし、ふたを閉めます。
8. 自動接続し、殺菌します。
9. 接続チューブを取り出し、排液バッグをスタンドの下部に掛けましょう。
10. ツイストクランプ（排液クランプ）を開け、排液操作をします。排液量を測定し、記録ノートに記入します。
11. 排液完了後ツイストクランプ（排液クランプ）を閉め、フランジブルシールを折ります。
12. 注液クランプをあけ、透析液が注、排液ラインを満たしていることを確認します。
13. 注液クランプを閉めます。注液量を測定し、記録ノートに記入します。

14. 透析液バッグをスタンド上部に掛けます。

15. ツイストクランプ（注液クランプ）を開けます。

治療終了

1. ツイストクランプと注液クランプを閉めます。

2. クリーンフラッシュのふたを開け、左溝に（黄色い溝）にディスクコネクトキットを入れ、接続チューブも入れ、ふたを閉めます。

3. 自動接続で切り離し、使用済み器材、接続チューブを取り出します。

4. 排泄の性状、徐水量を計算し、記録しましょう。

5. 排泄をトイレに捨てます。バッグは各市町村の分別方法に合わせて捨てましょう。

カテーテルケア

1. 皮下カテーテルの確認をします。

2. 出口部の観察をします。

出口部の色、腫れ、痛み、浸出液や膿が出ていないか確認します。

3. 接続部の確認をします。

4. 出口部を洗います。

弱酸性の石鹸とタオル又はガーゼでカテーテルの周りの皮膚を入

念に洗い、もう 1 枚の乾いたタオルで水分をよく拭き取り乾かします。

5. 消毒をします。

滅菌の綿棒でカテーテル出口部から外側周辺に向けて皮膚を消毒し、乾燥させます。出口部中心に「の」の字を書くようにします。

6. カテーテルの固定をします。

カテーテルを固定し、出口部をおおいテープで固定します。

〈注意事項〉

1. 接続操作は必ず清潔操作で行いましょう。
2. UV フラッシュツインバッグは加温器に入れ、温めておきましょう。
3. 外袋が破れていたり、フランジブルシールが使用前に折れている場合は使用しないようにしましょう。
4. 緑色キャップを外したスパイクポート部及びスパイク部の先端に手や物が触れないように注意しましょう。腹膜炎の原因になります。
5. 万一、ツインバッグが汚染された場合は、新しいものと交換しましょう。

6. 万一、接続チューブが汚染された場合は、次のことを速やかに行いましょう。

- ・ ツイストクランプが閉まっていることを確認する。
- ・ 接続チューブを縛り、スパイク部を清潔なガーゼで保護する。
- ・ かかりつけの医療機関へ連絡し、指示に従いましょう。

7. 紫外線照射中は照射部に目を近づけ光を見つめないようにしましょう。

8. カテーテルが破損した場合は、破損部よりおなか側に近い部分を輪ゴムで止め、すぐにかかりつけの医療機関へ連絡し、指示に従いましょう。

9. 出口部分が赤くなったり、かさぶたができたり、カテーテルの内側に肉芽があるなどの異常時は、かかりつけの医療機関を受診しましょう。

指導状況チェックリスト 〈CAPD チェックリスト〉

A…看護師が実施 B…看護師の援助によりできる C…看護師の援助なしでできる

	/	/	/	/	/
1. 石鹼を使用し手を流水で洗う					
2. ディスコネクトキットの開封とマスクの着用					
3. ツインバッグの表示の確認（濃度・容量・期限）					
4. 排液・注液ラインについているクランプをずらして止める					
5. 透析液バッグの液漏れの有無を確認する					
6. 透析液バッグを保温カバーに入れる					
7. UV フラッシュの電源を入れる					
8. UV フラッシュの上部ユニットをあける					
9. 左溝に接続チューブをセットする					
10. 右溝にツインバッグのスパイクポートをセットする					
11. スパイクポート部先端の緑色キャップを外す					
12. UV フラッシュの上部ユニットを閉じる					
13. インジェクター（ピンク）を押し接続チューブを外す					
14. 排液バッグをスタンド下部に掛ける					
15. 排液クランプ（白色）を開ける					
16. ツインクランプ（腹部の水色部分）を開ける					
17. 排液後、ツインクランプ・排液クランプを閉じる					
18. 排液量を測定する					
19. フランジブルシール（緑色）をポキッと折る					
20. 注排液クランプ（青・白）を開け管内に液をみたく					
21. ルート内に空気が残っていないか確認し、注排液クランプを閉じる					
22. 注液量を測定する					
23. 透析液バッグをスタンド上部に掛ける					
24. 注液クランプを開け注入する					
25. ツインクランプ（腹部の水色部分）を開ける					
26. 注液後、ツインクランプ・注液クランプを閉じる					
27. 接続操作（7～13）を行う					
28. 排液性状の観察を行う					
29. カテーテルケアを行う					

